



名 称	株式会社 リそなホールディングス (英文名称 Resona Holdings, Inc.)
所 在 地	東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話 (03) 6704-3111 (代表)
	大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話 (06) 6268-7400 (代表)

<http://www.resona-gr.co.jp/>



お預かりしているのは、
人生だから。

第11期
リそなグループ 報告書

リそなToday

(2011年4月1日～2012年3月31日)

この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。



「適切に管理された森林からの木材(認証材)」を原料として、
FSC® (Forest Stewardship Council®、森林協議会) から
認証を受けた紙を使用しています。



植物油インキを使用しています。

証券コード 8308



株式会社 **リそなホールディングス**

りそなグループ経営理念

りそなグループは、創造性に富んだ金融サービス企業を目指し、
お客さまの信頼に応えます。
変革に挑戦します。
透明な経営に努めます。
地域社会とともに発展します。

各ステークホルダーに対する
姿勢として具体化

りそなWAY（りそなグループ行動宣言）

お客さまと「りそな」

「りそな」は
お客さまとの信頼関係を
大切にします

株主と「りそな」

「りそな」は
株主との関係を
大切にします

社会と「りそな」

環境方針

「りそな」は
社会とのつながりを
大切にします

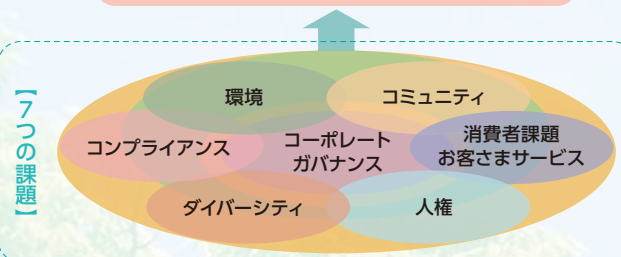
従業員と「りそな」

「りそな」は
従業員の人間性を
大切にします

りそなグループCSR方針

「持続可能な社会づくりへの貢献」
のために、「企業の社会的責任」と
して、右の7つの社会的課題に対
する取組み方針をそれぞれ明確化
したものです。

CSR経営 = 持続可能な社会づくりへの貢献



「りそな」に込めた私たちの思い

「りそな」は、ラテン語で「共鳴する、響きわたる」という意味を持ちます。お客さまの声に耳を傾け、共鳴し、響き合いながら、お客さまとの間に揺るぎない絆を築いていこうという思いを込めました。

シンボルマーク ふたつのRは（りそな（Resona）と、（地域（Regional））の共鳴を、全体を囲む正円は「安心感」「信頼感」を表現しています。

グループカラー グリーンは「やさしさ」「透明」等を、オレンジは「親しみやすさ」「暖かさ」等を象徴しています。

Contents

りそなグループ経営理念	2
ごあいさつ	4
りそなグループ経営戦略	5

よくある
ご質問に
お答え
します。

Q りそなグループの業界内での 位置付けは？	6
りそな改革の成果は？	8
公的資金の返済状況と 今後の配当方針は？	10
りそなグループの 2012年3月期の業績は？	12
りそなグループの強み、 商品・サービスは？	16
りそなグループの CSRへの取組みは？	20

財務諸表（連結）	22
3行の概況 株式の状況	24
株式事務のご案内 個人情報のお取扱い	26



株式会社 **りそなホールディングス**

取締役兼執行役会長
(株主総会議長)
細谷 英二

取締役兼代表執行役社長
檜垣 誠司

皆さまには、日頃よりりそなグループをお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。ここに、「りそなToday」(第11期りそなグループ報告書)をお届けします。

東日本大震災・原発事故などにより、年度前半の国内景気は一時的に落ち込みましたが、年度後半には概ね震災前の水準まで回復しました。震災に伴う復興需要という景気拡大の要因があった一方、海外経済の減速や円高進行などにより、日本経済を取り巻く環境は依然として不透明な状況にありました。

こうした環境下、2011年度のりそなグループ連結ベースの当期純利益は、不良債権処理費用や税金費用が減少したことなどにより、前期比935億円増益の2,536億円となりました。これは昨年11月にお示した業績予想を836億円上回る水準であり、8期連続

での黒字計上となりました。2003年の公的資金注入以降、新しい銀行の創造、すなわち「真のリテールバンク」を目指して体質転換を進めた成果であると考えております。

この結果、残存する公的資金優先株の返済原資となる当社及び傘下銀行の利益剰余金は合算で1兆288億円となり、公的資金完済へ向け着実に前進しました。堅固なバランスシートと厳格な経費コントロールに裏打ちされた黒字経営を持続することで、高い健全性を維持しながら、早期に公的資金の完済を実現できるよう努めてまいります。

りそなグループは高齢社会に欠くことのできない「信託」機能をご提供できる「都市型スーパー・リージョナルバンク」として、しっかりとその責務を果たしていく必要があります。世代と世代をつなぐ信託ソリューションをシニアのお客さまにご案内する一方、若いお客さまには資産形成に繋がる多様な商品・サービスをワンストップでご提供してまいります。法人のお客さまが直面する経営課題に対しては、専門性の高い高度なソリューションを迅速にご提供し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

昨年8月に「ISO26000」に対応した「グループCSR方針」を制定しました。CSRは経営そのものであり、「CSR経営＝持続可能な社会づくりへの貢献」と位置づけ、全てのステークホルダーの皆さまからご支持いただけるよう、従業員一人ひとりが日常業務を通じてCSR活動を実践してまいります。

りそなグループは、これからも透明性の高い経営を継続し、「真のリテールバンク」を目指し、お客さまとともに進化し、変革を続けてまいります。何卒、今後とも皆さま方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月

りそなグループ経営戦略

「真のリテールバンク」を目指します

金融サービス企業として他の追随を許さない、リテールバンクのフロントランナーとしての地位を確立してまいります。

当社グループは、「事業領域の選択と集中」により、地域に密着した高度なサービス提供とコスト優位性による競争力を両立する『りそな』独自のビジネスモデルを実現するとともに、このビジネスモデルを支える「りそなスタイルの確立」により、“スマート”で親しみやすい「真のリテールバンク」を目指します。

りそなスタイルの確立

「新しい企業文化の創造」「個の重視」「信頼度No.1への挑戦」に取り組むことで、従来の常識や慣行にとられない金融サービスを確立すること

事業戦略の3つのポイント

「オールりそな」の発揮

- 「真のリテールバンク」戦略の一層の深掘りと徹底
- 金融と信託の結合

クロスセルスの徹底・推進

- 複合的な金融サービスへのニーズに対応
- 首都圏・関西圏の2大都市を核とする地域戦略の展開

コスト優位性の更なる向上による競争力の発揮

- オペレーション改革
- 6つのSmart化の推進

5つの重点戦略

地域密着
リレーションの
徹底

「リテール×信託」
の発揮

金融商品・ローン
提供力
No.1への挑戦

資産承継・事業承継
ブランドの確立

総合力発揮による
法人基盤の拡充

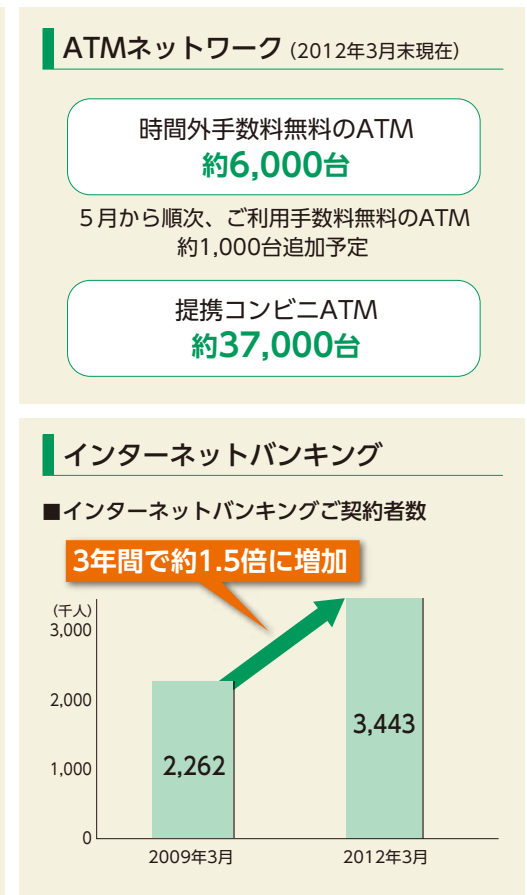
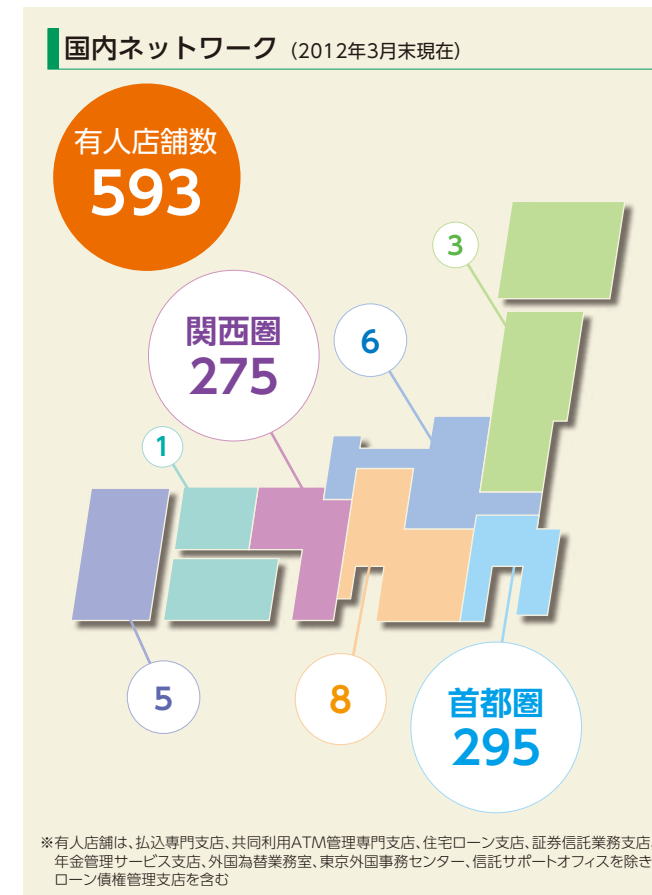
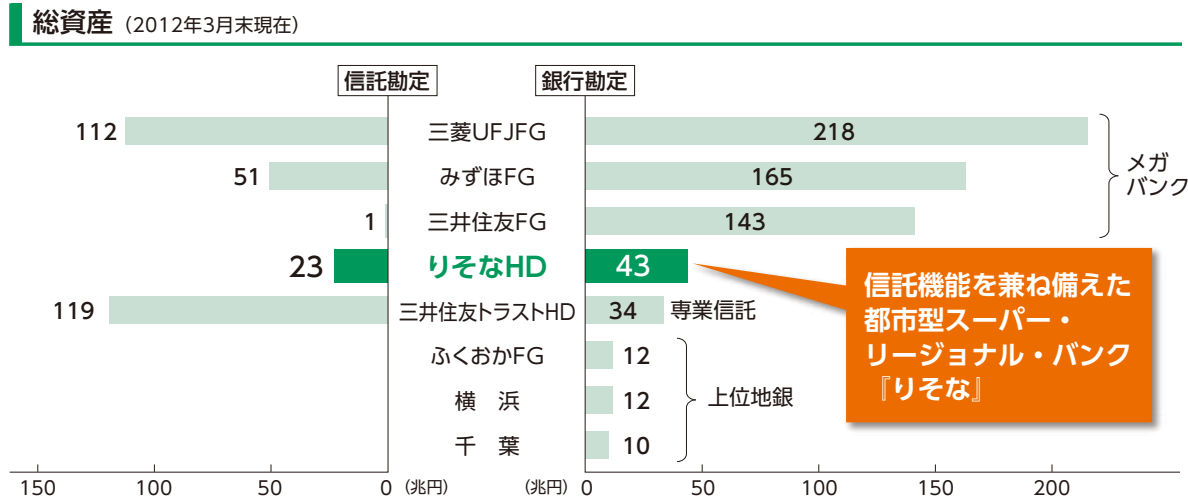
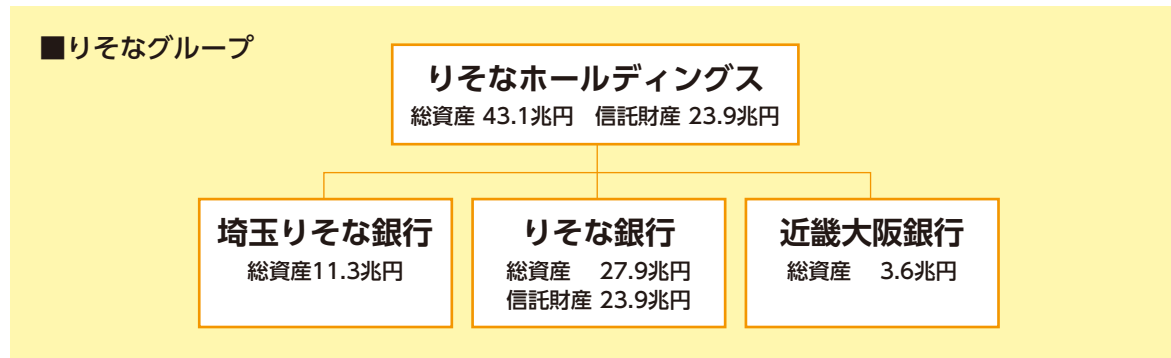
Q リソナグループの業界内での位置付けは？



リソナToday

リソナグループは総資産約43兆円、フルラインで信託業務・不動産業務を展開する商業銀行を有するユニークな金融グループです。

首都圏、関西圏を中心に有人店舗数は593、グループのネットワークと地域密着の強みをあわせ持っています。



Q りそな改革の成果は？



りそなToday

2003年の公的資金注入以降、『りそな改革』に取り組んできました。リテール業務を中心に本来の銀行業務に特化し、持続的な成長に向けた経営体制を構築しています。

ダウンサイドリスクの少ない健全な財務体質を構築しています。

2012年3月期までのりそな改革の成果

		2003年3月期	2012年3月期	
負の遺産との決別	不良債権比率	11.19% (2003年9月末)	2.32%	▶ 不良債権問題と決別
	保有株式残高	約1.4兆円	約0.34兆円	▶ 1兆円以上を削減
	営業経費率	66.3%	55.0%	▶ ローコスト経営の定着
	関連会社数	50社	8社	▶ コアビジネスへの回帰
	格付 ⁽¹⁾	BB+	A	▶ 格付は大幅改善（5段階向上）
持続的成長を実現	住宅ローン残高 (貸出金に占める比率)	8.4兆円 (29%)	12.2兆円 (47%)	▶ 良質な貸出資産を積上げ
	個人向け投資商品残高 (個人向け投資商品比率 ⁽²⁾)	0.79兆円 (4%)	3.91兆円 (15%)	▶ 投資商品残高は約5倍に
	個人預金残高 (預金に占める割合)	20.2兆円 (58%)	22.7兆円 (65%)	▶ 個人預金は着実に増加
		2003年9月末	2012年3月末	
公的資金残高		3兆1,280億円	8,716億円	▶ 4分の1程度まで減少

(1) りそな銀行長期債務格付（スタンダード＆プアーズ）
(2) 個人向け投資商品残高／(個人預金残高＋個人向け投資商品残高)

りそなホールディングス連結バランスシート（2012年3月末現在）

ここがポイント

健全な貸出金 ポートフォリオ

- 住宅ローンが47%（傘下銀行合算）を占めるほか、法人向け貸出も約9万先の中堅・中小企業に分散

ここがポイント

保守的に管理された 有価証券ポートフォリオ

- 日本国債中心の保守的な運用
- 保有株式圧縮の結果、損益分岐点日経平均株価は7,100円程度

[資産]	[負債および純資産]
貸出金 25.7兆円	預金 34.5兆円
うち住宅ローン 12.2兆円 (傘下銀行合算)	
有価証券 11.3兆円	
その他資産 6.1兆円	その他負債 6.8兆円
	純資産 1.8兆円

ここがポイント

安定した調達構造

- 強固な預金基盤
約1,300万の個人のお客さま基盤
⇒安定した資金調達が可能

ここがポイント

十分な水準の 自己資本比率を維持

- 自己資本比率は13.19%（速報値）、引き続き十分な水準を維持

Q 公的資金の返済状況と今後の配当方針は？

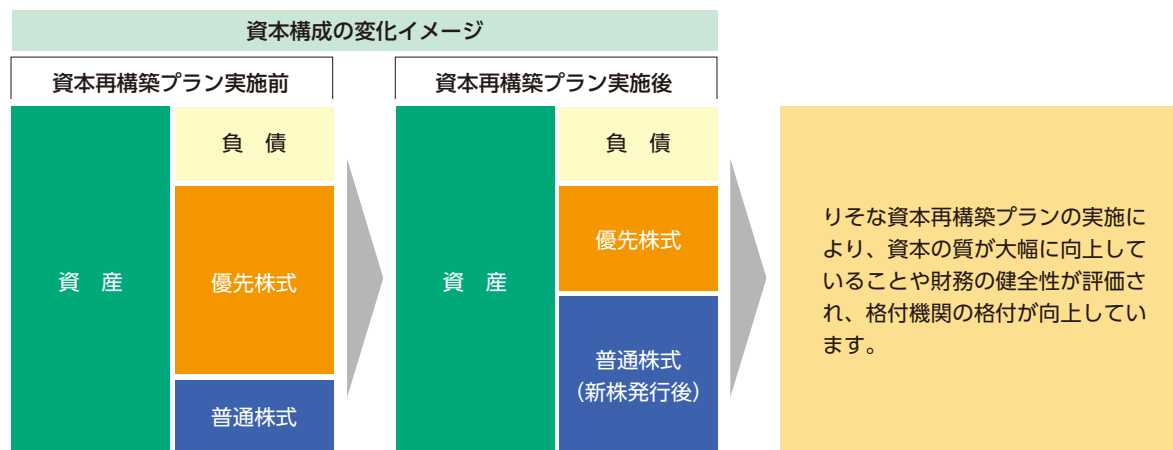


りそなToday

りそな資本再構築プランの実施により資本政策の重点を「公的資金の返済」から「普通株主価値の向上」へ転換してまいります。

りそな資本再構築プラン（2010年11月公表）

財務基盤を普通株式中心の分かりやすい資本構成に再構築し、新たな自己資本規制強化（バーゼルⅢ）を踏まえた将来的な資本の質を確保するとともに、公的資金完済への展望を提示いたしました。



りそな資本再構築プラン実施後のりそなグループの格付変更

（2012年3月末現在）

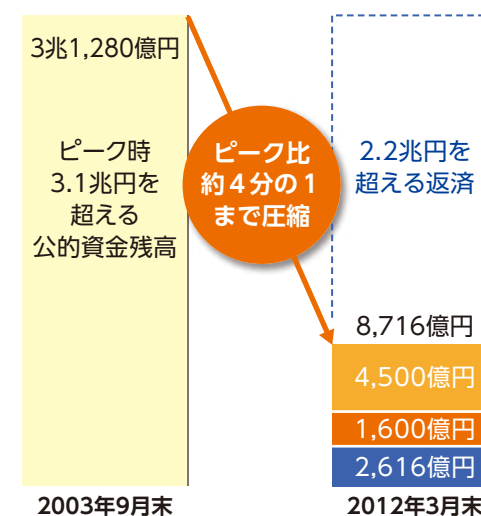
スタンダードアンドプアーズ(S&P) (2011年2月)	りそな銀行	A-	→	A
ムーディーズ (Moody's) (2011年8月)	りそな銀行・埼玉りそな銀行・近畿大阪銀行	A1	→	A2*
日本格付研究所 (JCR) (2011年9月)	りそな銀行・埼玉りそな銀行	A	→	A+
格付投資情報センター (R&I) (2011年9月)	りそなホールディングス	A-	→	A
	りそな銀行・埼玉りそな銀行	A	→	A+

* 日本国債の格下げに伴い、邦銀を支援する日本政府のサポート能力の評価を引き下げたもの。

公的資金の返済は2.2兆円、ピーク時の約4分の1まで圧縮しました。

公的資金返済状況と今後の返済方針

公的資金返済状況（注入額残高）



今後の返済方針

預金保険法優先株式 残存額 4,500億円

- 今後の利益（剰余金）を累積し返済する予定
- 足元の利益実績を踏まえると、5年程度での完済が展望できる

早期健全化法優先株式 残存額 1,600億円

- 一斉取得となった場合に交付することになる普通株式は、既に自己株式として保有しており、発行済株式数の増加はほとんど生じない見込み

普通株式 残存額 2,616億円

- 預金保険機構が保有する普通株式に関しては、当面、当社として売出しの申し出は行わない方針

中長期的な配当方針

りそなグループは、企業価値向上に向けた経営改革に努めるとともに、公的資金の早期返済を実現すべく、内部留保の蓄積を優先し利益の社外流出を抑制することを基本方針としつつ、今後も安定配当を目指してまいります。

なお、預金保険法優先株式の完済後、配当性向等の目標水準を含めた配当方針を明確化する予定です。

Q りそなグループの2012年3月期の業績は？

※金額については単位未満を切捨て表示しております。



りそなToday

連結当期純利益は、与信費用や税金費用が減少したことなどにより、前期比935億円の増益となる2,536億円となりました。

損益の状況 (りそなホールディングス連結)

(単位：億円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	前期比
連結粗利益	6,783	6,670	6,552	△118
資金利益*1	4,994	4,840	4,639	△201
信託報酬	287	259	234	△24
役務取引等利益*2	1,164	1,208	1,196	△11
その他業務粗利益	337	361	480	+119
営業経費	△3,875	△3,694	△3,609	+84
株式関係損益	6	△8	23	+31
与信費用総額*3	△1,146	△615	△138	+477
その他損益等	△8	18	△95	△114
税金等調整前当期純利益	1,760	2,371	2,732	+361
税金費用ほか	△438	△770	△196	+573
当期純利益	1,322	1,600	2,536	+935

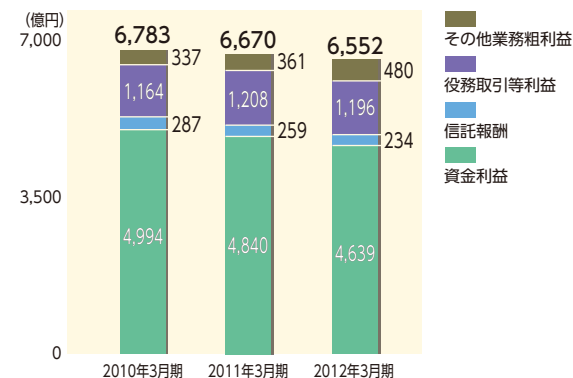
連結粗利益は、利回りの低下を主因として資金利益が減少する中、保険販売や不動産業務等による役務取引等利益の確保に努めました。

営業経費は、ローコスト運営の徹底により、前期比84億円減少し、営業経費率*4は55.0%となりました。

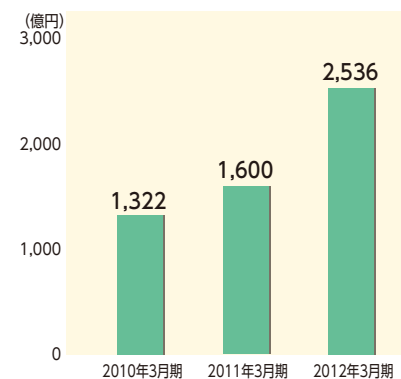
与信費用総額は、新規発生が低水準であったことに加え、一般貸倒引当金が戻入となったこと等から、前期比で減少しました。

税金費用は、貸倒引当金に係る税効果見直し等により大幅に減少しました。

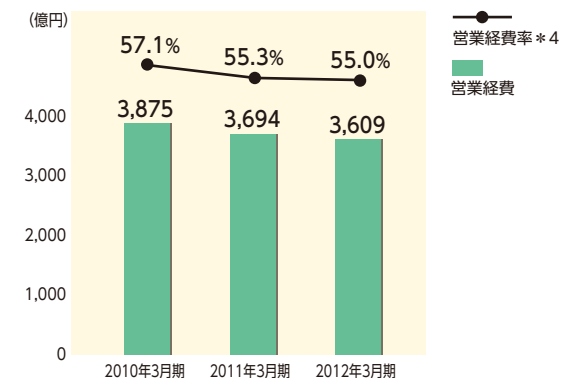
連結粗利益



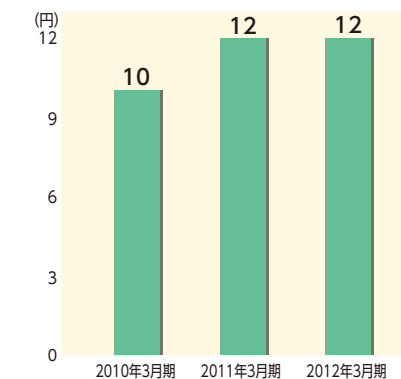
当期純利益



営業経費



普通株式1株当たり年間配当金



用語解説

*1 資金利益

貸出や有価証券運用などによる収入から、預金利息などの費用を差し引いた収支のことです。

*2 役務取引等利益

投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。

*3 与信費用総額

貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。

*4 営業経費率

連結粗利益に占める営業経費の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

Q りそなグループの2012年3月期の業績は？



りそなToday

資産・負債の状況

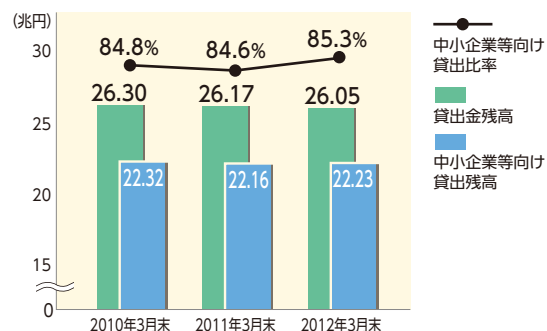
磐石な財務体質を堅持、
自己資本比率は13%台となりました。

重点ビジネスの状況

資産形成、承継ニーズに「オールりそな」で
取り組みました。

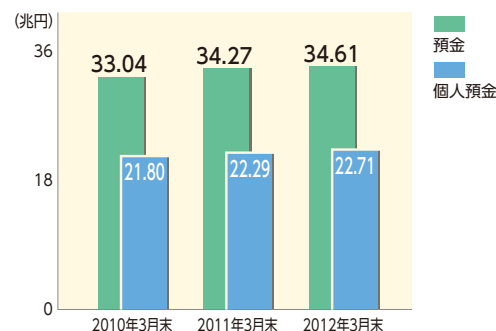
貸出金残高（傘下銀行合算）

中小企業等向け貸出は前期比増加しました。



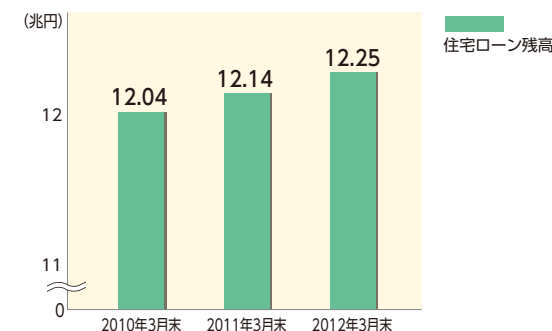
預金残高（傘下銀行合算）

個人預金は、増加トレンドを維持しています。



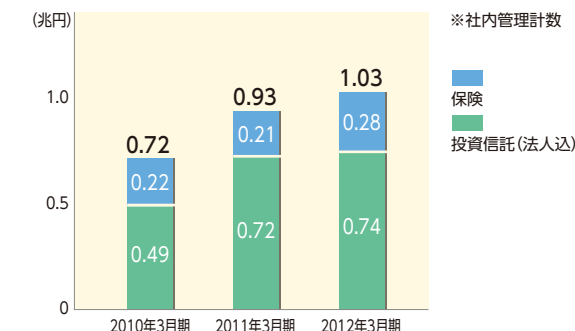
住宅ローン（傘下銀行合算）

住宅ローン残高は引き続き増加しました。



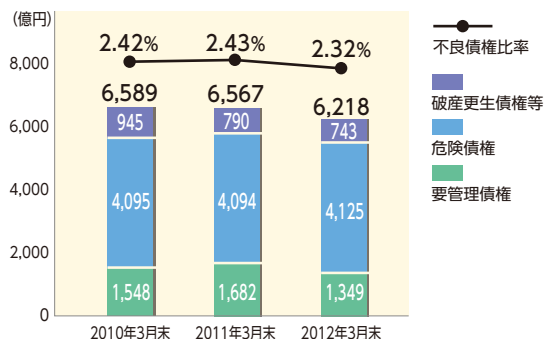
金融商品販売（傘下銀行合算）

保険販売がラインアップの充実に伴い増加となりました。



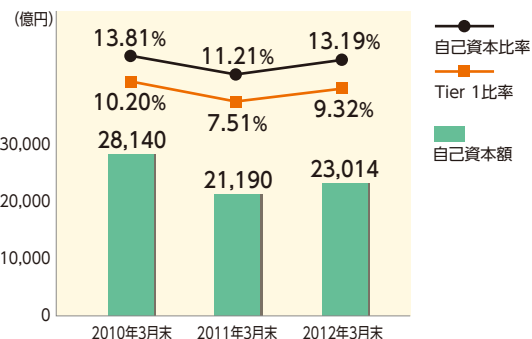
不良債権および不良債権比率（傘下銀行合算・金融再生法基準）

不良債権の新規発生の減少、債務者区分の改善等から、
残高、比率ともに改善しました。



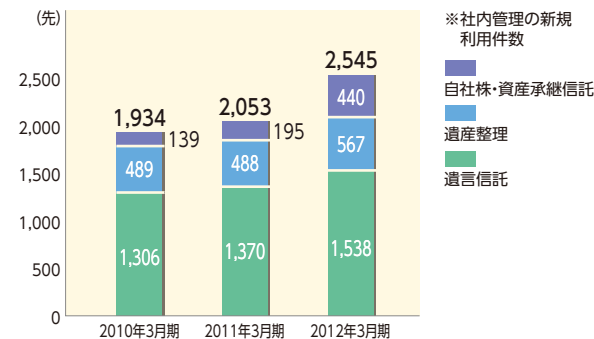
自己資本比率（連結）

自己資本比率は、13.19% (速報値) に上昇、健全な水準
を維持しています。



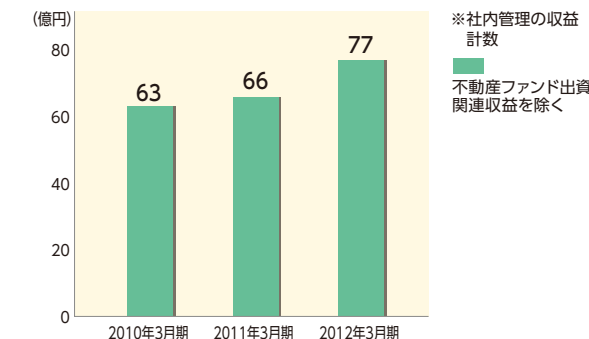
資産承継ビジネス（りそな銀行）

お客さまのニーズを定型化した資産承継信託の新商品の
取扱開始などにより、件数が増加しました。



不動産業務（りそな銀行）

幅広い店舗ネットワーク、お客さま基盤を活かした不動産
情報の収集に努め、仲介手数料等が増加しました。



Q リそなグループの強み、商品・サービスは？

16～19ページに掲載している「商品・サービス」については各種条件等、詳細は店頭あるいはホームページでご確認ください。

リそなToday

Q リそなの強みは？

リそな銀行は「地域密着」の「商業銀行」でありながら、フルラインの信託機能を有する唯一の銀行です。

埼玉リそな銀行、近畿大阪銀行もリそな銀行の代理店として主要な信託商品を取り扱っています。

リテール

信託

地域密着の『リそな』

- 首都圏、関西圏に堅固な基盤
- 地域特性に応じた業務運営
- ▶地域CEO等に大幅な権限委譲

商業銀行の『リそな』

- 約1,300万の個人のお客さまと約9万先の法人のお客さま(貸出先数)
- メガバンクに匹敵する店舗ネットワーク

信託機能を持つ『リそな』

- 遺言信託、資産承継信託等、高齢社会に最適なサービスをご提供
- リそな銀行本体で不動産業務が可能

Q リそなの個人向け信託商品は？

「リテール×信託」に取り組み、お客さまに選んでいただける数多くの信託商品をご提供しています。

承継関係の商品

※信託商品の一例です。

将来や万に備えたい
遺言信託
資産承継信託

円滑に事業を承継したい
自社株承継信託

その他の商品

リそな独自の
リテール向けの新たな運用商品
実績配当型金銭信託
「信託のチカラ」

将来の医療費などの
そなえに
資産承継信託パッケージ型
「わたしのおまもり」

分譲マンションの将来の改修のために
マンション修繕積立金信託

寄附による社会貢献のために
特定寄附信託「応援の絆」

後見人の財産管理をサポート
後見制度支援信託

※各商品のご利用時には所定の手数料や信託報酬を申し受けます。なお、商品によっては相場変動などにより元本の欠損が生じるおそれがあります。また、審査によりご希望に添えない場合がございます。(株式会社リそな銀行)

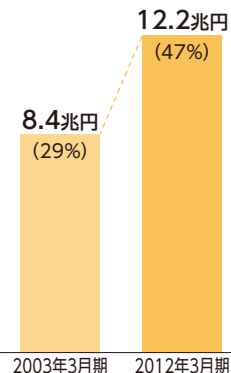
Q リそなの住宅ローンは？

50万人を超えるお客さまが、リそなの住宅ローンをご利用中です。

住宅ローンは リそなの強みです。

住宅ローン残高が大幅に増え、良質な貸出資産を積み上げています。

■住宅ローン残高の比較
(貸出金に占める比率)



多彩な商品をご提供しています。

通常の団体信用生命
保険よりも引受範囲
を拡大
ワイド団信プラン

女性の素敵な決断を
応援する住宅ローン
**女性向け専用
住宅ローン**

「がん」「急性心筋梗塞」「脳卒中」と
診断されると
保険金が
支払われます。
**3大疾病保障
特約付住宅ローン**

省エネ・エコロジーを応援する
**各種住宅ローン
各種リフォームローン等**

住宅ローン専門拠点の
土日営業を拡大しています。

平日にご来店いただけないお客さまのために、
土日に営業する拠点を順次増やしています。

住宅ローンをご利用いただいているお客さまへの便利でおトクなサービスがあります。

お買物などにご利用いただける、リそなの「クラブポイント」をプレゼントいたします。

インターネットバンキングからの、
住宅ローン一部繰上返済に関わる繰
上返済手数料は無料です。

※保証料の戻しが発生する場合には、保証会社手数料と
振込み手数料がかかります。

教育ローンなど、各種ローンの
金利割引サービスを実施し
ています。

Q リそなグループの強み、商品・サービスは？

16～19ページに掲載している「商品・サービス」については各種条件等、詳細は店頭あるいはホームページでご確認ください。



リそなToday

Q リそなの手数料、営業時間は？

お客さまの視点で手数料や営業時間の改革を行い、独自のサービスをご提供しています。

Service 1

ATMの
利用手数料が
いつでも0円

※リそなグループのキャッシュカードを
リそなグループのATMで利用した場合。
※お振込みには所定の手数料がかかります。
※ATMのご利用時間は店舗により異なります。

仕事帰りでも
休日でもタダなんだ



Service 2

リそな銀行
埼玉りそな銀行

窓口は、
**平日17時まで
営業**

銀行の窓口って、
15時までが多いけれど、
これなら便利！



Service 3

個人のお客さま向けの
ネット・電話※なら
りそなグループ宛の
振込手数料はなんと0円

※ネット：インターネットバンキング
電話：テレフォンバンキング

他行宛でも
振込手数料は
税込100円



インターネット
バンキング



テレフォン
バンキング



Q リそなの店舗は今後どうなる？

次世代型店舗スタイルやコミュニケーション端末を活用して、お手続きのシンプル化とサービスの向上を図ってまいります。

次世代型店舗

お客さまのご相談スペースを倍増、
銀行の事務スペースを半減



クイックナビ

コミュニケーション端末

生体認証ICキャッシュカードと
タッチパネルの利用で
従来より「安心」・「便利」に

通帳・印鑑のご持参や面倒
な書類記入が不要になりました。



代表的な例についてご紹介しています。
銀行・店舗によって一部構成が異なる場合があります。

りそな銀行

セブندイズプラザうめきた

大手行初、365日年中無休の
店舗が4月1日にオープン。

土・日・祝
もオープン

年末年始も
無休

夜7時まで
営業



「セブندイズプラザうめきた」イメージ。
(大阪梅田のヨドバシ梅田ビル地下1階)

近畿大阪銀行

うめだプラザNANOCA(なのか)

土・日・祝も営業を行う店舗を
7月7日にオープン予定。

※年末年始、GWは除きます。

「家計の見直し相談」などの他さまざまご相談を無料で行い
ます（事前予約制）。一般の窓口業務と一部異なります。

Q りそなグループのCSRへの取り組みは？

りそなグループでは、「CSR（＝企業の社会的責任）とは、私たち従業員一人ひとりが、お客さまのため、地域社会のため、次世代のため何が出来るかと考え日々の業務に取り組んでいくこと」と捉え、さまざまなCSR活動を実践しています。

地域活性化は、
私たちの使命！

りそなグループの各銀行では、地域企業の皆さまのニーズにきめ細かくお応えするため、マーケティングやマッチングのお手伝いをする各種イベントを開催しています。

農と食の展示・商談会2012



埼玉りそな銀行

埼玉県と連携し、農業や食品加工を営む皆さまとバイヤーの皆さまが一堂に会する県内最大級の「食」イベントを開催しました。

りそなDEモニター会

商品開発に女性の意見を活用したいというお取引先のニーズにお応えするモニター会を企画。東京と大阪で開催しました。



りそな銀行

第2回SAKAI環境ビジネスフェア



近畿大阪銀行

環境モデル都市として「クールシティ」の実現を目指す堺市をサポート。21の金融機関と連携し、環境ビジネスフェアを開催しました。

全てのお客さまに快適な
店舗を目指したい！



優先シート

2012年1月にりそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行の全店に優先シートを設置し、必要とされる方にお譲りいただくよう、ご協力をお願いしています。



りそなグループの各銀行では、ノーマライゼーションへの取り組みを推進しています。車いすをご利用のお客さま、ご高齢のお客さまや妊娠されているお客さまなどに安心して銀行にご来店いただけるように、「優先ATM」や「優先シート」を設置しました。

優先ATM

ATMにお並びのお客さまにご了解いただき、優先的にご案内しています。



次世代を担う子どもたちを
地域みんなで育みたい！



エコノミクス甲子園

2011年には3大会合わせて120名の高校生が全国大会目指して金融知力を競いました。



埼玉大会
(主催：埼玉りそな銀行)



関東大会
(主催：りそな銀行)



関西大会
(主催：近畿大阪銀行／りそな銀行)

りそなキッズマネーアカデミー

毎年、夏のイベントとして定着しています。これまでに12,000名を超える子どもたちが参加しています。



連結貸借対照表 (単位：億円)

2011年3月31日現在		2012年3月31日現在	
資産の部			
現金預け金	30,277	27,077	
コールローン及び買入手形	3,566	2,463	
買入金銭債権	4,274	4,397	
特定取引資産	6,375	6,965	
有価証券	98,999	113,358	
貸出金	258,530	257,826	
外国為替	634	763	
その他資産	16,342	11,580	
有形固定資産	3,132	3,070	
建物	1,044	1,032	
土地	1,930	1,900	
リース資産	11	15	
建設仮勘定	15	11	
その他の有形固定資産	130	110	
無形固定資産	538	518	
ソフトウェア	109	108	
リース資産	375	356	
その他の無形固定資産	53	53	
繰延税金資産	1,868	1,693	
支払承諾見返	6,784	6,084	
貸倒引当金	△ 4,246	△ 3,798	
投資損失引当金	△ 11	△ 3	
資産の部合計	427,068	431,998	

2011年3月31日現在		2012年3月31日現在	
負債の部			
預金	341,799	345,236	
譲渡性預金	14,246	13,375	
コールマネー及び売渡手形	2,779	4,085	
売現先勘定	1,429	119	
債券貸借取引受入担保金	－	3,450	
特定取引負債	2,442	2,732	
借入金	17,008	15,129	
外国為替	17	20	
社債	6,780	7,970	
信託勘定借	3,758	3,548	
その他負債	13,205	10,895	
賞与引当金	146	139	
退職給付引当金	115	124	
その他の引当金	345	413	
繰延税金負債	－	1	
再評価に係る繰延税金負債	282	237	
支払承諾	6,784	6,084	
負債の部合計	411,142	413,565	
純資産の部			
資本金	3,404	3,404	
資本剰余金	2,370	2,370	
利益剰余金	8,793	10,866	
自己株式	△ 868	△ 868	
株主資本合計	13,700	15,773	
その他有価証券評価差額金	618	922	
繰延ヘッジ損益	163	271	
土地再評価差額金	384	413	
為替換算調整勘定	△ 44	△ 46	
その他の包括利益累計額合計	1,121	1,560	
少数株主持分	1,102	1,098	
純資産の部合計	15,925	18,433	
負債及び純資産の部合計	427,068	431,998	

連結損益計算書 (単位：億円)

自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日		自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	
経常収益	8,598	8,503	
資金運用収益	5,510	5,202	
（うち貸出金利息）	(4,694)	(4,415)	
（うち有価証券利息配当金）	(583)	(594)	
信託報酬	259	234	
役務取引等収益	1,724	1,716	
特定取引収益	289	115	
その他業務収益	505	522	
その他経常収益	309	711	
経常費用	6,496	5,754	
資金調達費用	670	562	
（うち預金利息）	(386)	(298)	
役務取引等費用	515	520	
特定取引費用	3	－	
その他業務費用	429	157	
営業経費	3,694	3,609	
その他経常費用	1,183	905	
経常利益	2,102	2,748	

自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日		自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	
特別利益	326	20	
固定資産処分益	17	20	
負ののれん発生益	15	－	
償却債権取立益	293	－	
特別損失	58	36	
固定資産処分損	15	10	
減損損失	36	26	
その他の特別損失	5	－	
税金等調整前当期純利益	2,371	2,732	
法人税、住民税及び事業税	105	125	
法人税等調整額	621	25	
法人税等合計	727	151	
少数株主損益調整前当期純利益	1,643	2,581	
少数株主利益	43	45	
当期純利益	1,600	2,536	

連結株主資本等変動計算書 (単位：億円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,404	2,370	8,793	△ 868	13,700	618	163	384	△ 44	1,121	1,102	15,925
当期変動額												
剰余金の配当			△ 468		△ 468							△ 468
当期純利益			2,536		2,536							2,536
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
自己株式の処分		△ 0		0	0							0
土地再評価差額金の取崩			5		5							5
利益剰余金から資本剰余金への振替		0	△ 0		－							－
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						304	107	28	△ 1	438	△ 3	434
当期変動額合計	－	－	2,073	△ 0	2,073	304	107	28	△ 1	438	△ 3	2,507
当期末残高	3,404	2,370	10,866	△ 868	15,773	922	271	413	△ 46	1,560	1,098	18,433

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

りそな銀行			
総資金量・総貸出金の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
総資金量	321,183	331,941	329,418
総貸出金	173,150	172,781	171,234
※総資金量は、預金、譲渡性預金、金銭信託、年金信託および財産形成給付信託の合算です。			
※総貸出金は銀行勘定、信託勘定の合算です。			
損益の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
業務粗利益	4,066	4,008	4,031
経費	△ 2,308	△ 2,275	△ 2,226
*実勢業務純益	1,757	1,732	1,805
与信費用総額	△ 541	△ 175	60
当期純利益	859	1,051	1,869
連結自己資本比率の推移（国内基準）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
自己資本額	15,947	16,072	16,447
リスク・アセット等	144,541	136,605	124,075
自己資本比率（％）	11.03	11.76	13.25
※2012年3月期の連結自己資本比率は速報値です。			

近畿大阪銀行			
預金・貸出金の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
預金（譲渡性預金を含む）	33,211	32,891	33,474
貸出金	26,047	25,114	24,589
損益の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
業務粗利益	607	566	519
経費	△ 432	△ 418	△ 405
*実勢業務純益	174	147	114
与信費用総額	△ 112	△ 84	△ 61
当期純利益	74	104	165
連結自己資本比率の推移（国内基準）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
自己資本額	1,823	1,814	1,758
リスク・アセット等	17,019	14,115	13,095
自己資本比率（％）	10.71	12.85	13.43
※2012年3月期の連結自己資本比率は速報値です。			

埼玉りそな銀行			
預金・貸出金の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
預金（譲渡性預金を含む）	99,257	103,156	106,425
貸出金	63,863	63,883	64,680
損益の推移（単体）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
業務粗利益	1,478	1,483	1,435
経費	△ 764	△ 762	△ 756
*実勢業務純益	714	720	678
与信費用総額	△ 167	△ 107	△ 43
当期純利益	297	348	359
単体自己資本比率の推移（国内基準）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
自己資本額	4,251	4,439	4,396
リスク・アセット等	38,318	36,681	35,240
自己資本比率（％）	11.09	12.10	12.47
※2012年3月期の単体自己資本比率は速報値です。			

【ご参考】傘下銀行（単体）の合算			
合算実勢業務純益は、金利低下などに伴い資金利益が減少したことなどから、前期比2億円減少して2,597億円となりました。			
また、与信費用が改善したことなどから、当期純利益は889億円増加して2,394億円となりました。			
損益の推移（傘下銀行合算）			
（単位：億円）			
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
業務粗利益	6,152	6,057	5,986
経費	△ 3,505	△ 3,456	△ 3,388
*実勢業務純益	2,646	2,600	2,597
与信費用総額	△ 821	△ 368	△ 44
当期純利益	1,231	1,505	2,394

*実勢業務純益は、業務粗利益（信託勘定に係る不良債権処理額を除く）から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

（2012年3月31日現在）

発行済株式総数		2,769,477,691株 (うち、普通株式2,514,957,691株、優先株式 254,520,000株)		
株 主 数		普通株式 347,393名		
大 株 主 (上位10位)	普通株式	株主の氏名または名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
		預金保険機構	503,262	20.53
		日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	127,425	5.19
		日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	83,255	3.39
		第一生命保険株式会社	55,241	2.25
		CACEIS BANK FRANCE / CREDIT AGRICOLE SA	39,483	1.61
		日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	38,032	1.55
		THE CHASE MANHATTAN BANK 380501	34,565	1.41
		JP MORGAN CHASE BANK 380055	28,187	1.15
		日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	26,435	1.07
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	24,806	1.01		
※自己株式を除く				
普通株式の 分布状況	所有者別			
	()内は発行済株式総数に対する割合			
普通株式の 分布状況	所有株数別			
	()内は株主数合計に対する割合			

株式事務のご案内

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	定時株主総会については3月31日といたします。なお、その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 * 公告掲載の当社ホームページアドレス（決算公告も含む） http://www.resona-gr.co.jp/holdings/ir/koukoku/
単 元 株 式 数	単元株式数は100株です。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容		お問い合わせ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ		株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	☎ 0120-176-417
		インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
●上記以外のお手続き、 ご照会等は、右記の いずれかの窓口にお 問い合わせください。	証券会社に口座を お持ちの場合	証券会社	口座を開設されている証券会社にお 問い合わせください。
		特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
	特別口座*の場合	郵便物の送付先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
		電話番号	☎ 0120-094-777

※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。

上記株主名簿管理人とは郵便物の送付先、電話番号等が異なりますのでご注意ください。

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス（以下、「当社」といいます）は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報（氏名・住所・保有株式数等）を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1. 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社（下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。）から各種便宜を供与するため

- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する（当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む）ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2. 第三者提供の制限および事前の同意なく当社子会社に情報を提供する場合について

当社は、法令で認められている場合を除いて、原則として、あらかじめ株主さまの同意を得ることなく株主さまの個人情報を第三者に提供いたしません。

ただし、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第2項に基づき、株主さまご本人の求めに応じて提供を停止することを前提として、株主さまの同意をいただくことなく、以下のとおり、株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することがあります。なお、当社子会社に対する個人情報の提供の停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

- (1) 当社が株主さまの個人情報を提供する当社子会社
 - 株式会社りそな銀行
 - 株式会社埼玉りそな銀行
 - 株式会社近畿大阪銀行
- (2) 提供する個人データの項目
 - 氏名・住所
 - 保有株式数
 - 株主番号および登録時期に関する情報
- (3) 提供する手段または方法
 - 電子媒体により交付する方法

3. 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 2012年6月29日まで ☎ 0120-683-111 (本件専用)
2012年7月 2日より 東京 03-6704-3111 (代表) / 大阪 06-6268-7400 (代表)

受付時間 9:00～17:00（銀行休業日を除く）